# インフルエンザ患者数、例年より1月早いペースで増加

**国内のインフルエンザの患者数が、例年よりも約１月早いペースで増え始めている。Ａソ連型が多いのが特徴で、高齢者はワクチンを受けるなど、流行する前に早めの対策が必要だ。**

（11/17 読売新聞見出しより）

12月下旬から3月上旬は、インフルエンザの流行期です。潜伏期は１～５日（平均３日）、38℃以上の発熱と上気道炎、全身倦怠感などが主な症状です。通常、約１週間で症状は軽減しますが、高齢者では肺炎などを合併し重症化することがあり注意が必要です。

インフルエンザワクチンは65歳以上の健康な高齢者について、約45％の発症を防ぎ、約80％の死亡を阻止する効果があるといわれています。

## ●インフルエンザの型

**インフルエンザウイルス**にはＡ・Ｂ・Ｃの３型があり、このうちＡ型とＢ型がヒトのインフルエンザの原因になります。Ａ型はさらに亜型に分類され、Ａ香港型、Ａソ連型とあります。またＡ型とＢ型のウイルスが同じシーズンに流行することが多いので、Ａ型にかかった後Ｂ型にかかることもあります。


# あしたば 明日葉

第 8 号

H19. 11 発　行

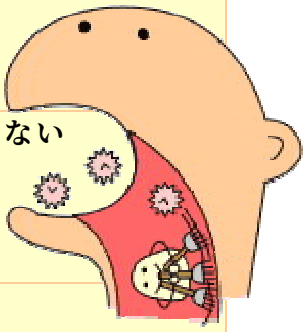
三　樹　病　院



TEL 0952-52-7272
FAX 0952-52-7255
info@miki-hosp.gr.jp


## ●『インフルエンザ』と『かぜ（普通感冒）』のちがい

| | インフルエンザ | かぜ（普通感冒） |
|---|---|---|
| 症状 | 潜伏期：１～５日（平均３日）<br>通常約１週間で症状は軽快します<br>①　突然の症状<br>②　38℃を越える発熱<br>③　鼻汁、のど痛、咳<br>④　悪寒、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛 | ①　微熱<br>②　せき、のどの痛み、鼻汁など |
| 重症化 | Ａ型の方がＢ型よりも症状が強い場合が多く、気管支炎、肺炎などを併発し重症化することもあるので高齢者、小児では注意が必要です | あまり重症化しない |
| 合併症 | 気管支炎、インフルエンザ肺炎、細菌性肺炎、脳炎、脳症 | まれ |
| 迅速診断法 | あり（インフルエンザ迅速診断キット） | なし |



## ●インフルエンザの予防手段

①インフルエンザ予防の基本は、**『栄養』・『睡眠』・『ワクチン接種』**です。

**◎栄養・休養をとる　◎人ごみを避ける　◎うがいを十分にする**

②インフルエンザウイルスは低温・乾燥を好みますので部屋の**十分な加湿と適温**で防いでください。

③確実な予防としてワクチンを受けることをおすすめします。特に高齢者および気管支、肺に慢性の病気を持っている方など流行前に受けてください。

もし残念ながらインフルエンザにかかったと思ったら**48時間以内の受診をおすすめします。**

# 「三樹会」開催

去る九月十四日、病院恒例の「三樹会」が上峰町町民センターで行われました。

「三樹会」とは、病院と介護部門の各部署が年間の業務成果をまとめ、分析・検討して、新たな課題や目標を見出すための発表会で、毎年行われ今年で十四回目を迎えました。

会は、当日の勤務者を除く全職員が集り、最初に院長先生の「応召義務」、「対診とセカンドオピニオン」、「ガンの告示」についての倫理講話が行われ、成田先生の司会進行で各部署の発表が始まりました。

緊張の面持ちを隠せなかった各発表者達は、ジェスチャーを交えて堂々と発表する者や、緊張のあまりかマイクのスイッチを入れ忘れて喋りだす者、会場の鋭い質問に「助っ人」を求める者もいて、緊張感溢れる中にも、笑い声が響き渡る場面もあり、各部署の現状と今後の方向性を全職員が確認できた有意義な会となりました。

プレゼンテーションを使用しての各部署の発表は、写真や図表入りで分かり易いスライドに仕上がっており、皆真剣な表情で聞き入っていました。

二時間余りの発表会も瞬く間に終わりを迎え、犬塚、久保田両先生のご指導と発表者への慰労の言葉をいただいた後、閉会となりました。

全職員が、本会で得た成果を今後の業務に活かして、常に患者様の立場に立ち、「より親身」で「より高度」な医療や介護を目指すことを再確認した発表会でした。

（担当　原）

**平成十九年度　三樹会発表者**

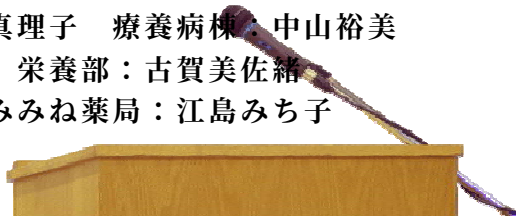
倫理講話：院長先生

司会進行：成田先生　総評：久保田先生　閉会の辞　犬塚先生

事務：志喜佳代子　外来：副島ヨリコ　一般病棟：江島真理子　療養病棟：中山裕美

手術部門：中原千鶴　リハビリテーション：鶴田俊太郎　栄養部：古賀美佐緒

明日葉：佐藤圭　かみみねデイサービス：高木祐夫　かみみね薬局：江島みち子



# 県展で「県知事賞」を受賞 ～明日葉：栗山氏～

第５７回佐賀県展が９月２９日（土）より佐賀県立美術館・博物館で開催され三樹病院、明日葉勤務の栗山利博さんが洋画部門でみごと最高賞の「**県知事賞**」を受賞しました。

**「受賞のよろこび」**

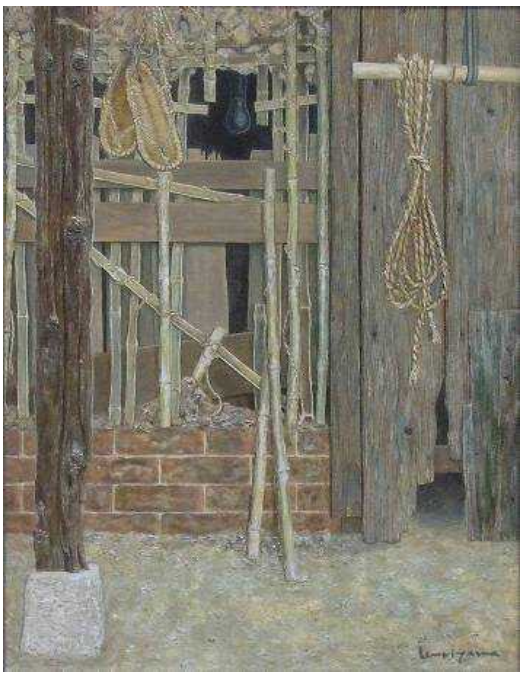
夜８時ごろ、「あなた―！・・電話よ―！・・なんでも県の文化課からとか―？・・・・」と、妻から呼ばれ受話器を取り・・・、「もしもし―！・・」　そして聞こえてきたのは男の声で「県展の洋画部門で栗山さんの作品が「県知事賞」となりました」とのことでした。

一瞬「うそだろ？・・」という気持ちと、もしかして本当だったらという気持ちと、この驚きで自分自身、電話でなにをしゃべっているか分からない状態でした。

私は、県展には毎年応募して、かろうじて毎年入選し、今年は１０年目でした。この最高賞の「県知事賞」を頂きこれは夢ではないかといまだに信じられません。これからもマイペースで自分の趣味として、この絵画を続けていきたいと思います。どうか応援よろしくお願いいたします。

審査員の堀　研先生の講評には「新鮮な表現で知事賞に」と表題があり内容は「誰もが子どものころから使ってきた水彩絵の具を用い何でもない身近なモチーフを誠実に描いた栗山利博氏の「古い納屋」を県知事賞に決定した。随所に工夫を凝らしながら、ほのぼのとしたリアリティーのある表現が新鮮であり、好感が持てた 。」 とありました。すばらしい評価をいただき本当にありがとうございました。

県の文化課から作者のコメントの要望があり絵画の横に掲示されました。



**「佐賀県知事賞者のコメント」**

この古い納屋を見た時、私の幼いころを懐かしく想い出させてくれました。

今、私は介護の仕事をしていることもあって、この「古い納屋」と「老いていく人生」を重ねあわせ、形あるものはいずれ朽ちていくものだと悲哀を感じ、それを描いてみました。

栗山　利博

**佐賀県美術展覧会**
**表彰式の様子**

栗山さん、今回の受賞誠にお目でとうございます。今後の更なる御活躍・御発展を御祈念いたします。

また、栗山氏作による別の絵画を三樹病院、病棟ロビーに展示してます。

（担当：木下）

# 三樹病院に新しい先生が見えられました！

三樹病院　薬剤部　薬局長
横田　昭三先生

**咲けばすぐ**
**風にただよい秋桜**

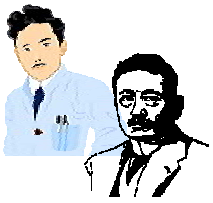
**風に乗る**
**よりも吹かれて秋の蝶**
**（by昭三）　＊俳句雑誌「ホトトギス」掲載**

① **出身地はどちらですか：**
大分県豊後大野市犬飼町

② **趣味・特技は何でしょうか：**
俳句（＊**名人**）・詩吟・書道（趣味）

③ **薬剤師を目指されたきっかけを教えて下さい：**
復員後、体調を崩して入院した時に、医学の道に進むこと（薬剤師）を目指しました。

⑤ **好きな食べ物＆嫌いな食べ物：**
何でも食べるので好き嫌いは特にないですよ。



⑥ **尊敬する人物はいますか：**
野口　英世　　夏目　漱石

⑦ **当院の印象はどうでしょうか：**
良　。大変良くしていただいているので、本当に有難いです。　（担当：熊田）

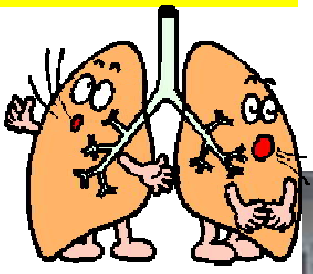
**【ホトトギス】**俳句雑誌。明治30年（1897）松山で創刊。正岡子規主宰。翌年東京に移して高浜虚子が編集。日本派の機関誌として、写生を主唱し、近代俳壇に大きな影響を与えた。現在も続刊。
**高浜虚子の長男で俳人の高浜年尾氏より、俳句の添削を受けたりと名人域の横田先生です。**

# 院内の勉強会について

当院では日頃より、医師および院外からの講師による勉強会を行っています。
日々医学は進歩し、技術も向上しており、それに対し遅れることのないよう、加えて日常行っている医療行為に自信を持ち、より知識を高め患者様に安心して治療を受けていただけるよう学習しています。

## ＊「胸部疾患のみかた」

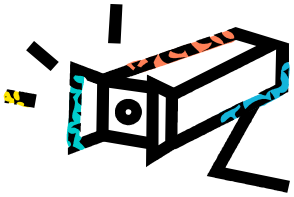
日　時：10月12日（金）
　　18：30～
場　所：リハビリ室
講　師：久保田雅博 Dr.
　　（スライド使用）
参加者：35名



10月12日に久保田先生による胸部疾患についての勉強会が行われました。
今回は症例をもとにスライドを使用しての勉強会となりました。また今回参加者は、聴診器持参ということで、実際に聴診器を使っての実技で学習でき、職員にとっては非常に分かりやすく、為になる有意義な勉強会でした。　（担当　樋口）

# 「危機管理できていますか！」

最近では、自然災害への対応をはじめ、「食の安全」の崩壊や遊戯施設、エスカレータでの人身事故、通り魔的犯罪の多発等により、危機管理の重要性が新聞、テレビ等で報道されています。



当院でも、「防災訓練」や男性職員に対する「防犯講話」、更に院内各所に「防犯器具」等を設置し、不測事態への対処能力の向上を図っています。

また「危険箇所の点検・補修」を行い、事故の未然防止に努める等、身近な危機管理の充実が行われています。

**今、貴方の身の周りには、危険を感じるものはありませんか？**

私達病院職員は、どの様な時も「患者様の安全確保」を最優先に考えて行動しなければなりません。全職員が常日頃から身の回りに潜むあらゆる危険をイメージアップし、その対処マニュアルをしっかりと身につけ、万一の事態に的確に対応できるように一人一人の危機管理能力を高めていきましょう。

（担当　原）

# 防災訓練

**出火現場へ急行し、初期消火に努める消火班**

三樹病院では、年２回の防災訓練を実施しています。

今回は11月15日、関係者が立会い、①初期消火と早期通報、②自衛消防隊内での的確な報告・通報に重点を置いた訓練を行いました。

火災発生から、初期消火活動、患者様避難誘導、消防署通報など、短時間での一連の動作を再確認し、職員の防災意識を高めました。

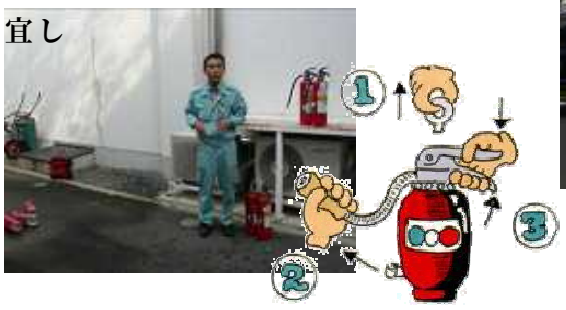
訓練終了後は、消火器の取扱いと操作教育が行われました。

今後も訓練が実働にならないよう、最善を尽くします。

皆様もご協力下さいますよう、宜しくお願い致します。

（担当：石橋）

**重症の患者さんをストレッチャー、担架に乗せ避難誘導路に従って避難させる避難誘導班**

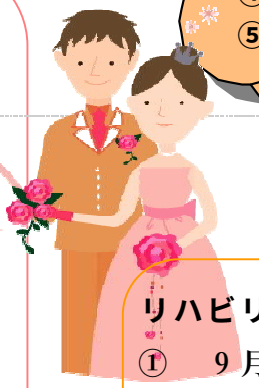



**訓練終了後は（株）ソウケン・奥田氏より、消火器の取扱いと操作教育が行われました。**

# 結婚ブーム！

今年、三樹病院ではめでたくゴールインされた職員がなんと４名もいます。
その幸せなみなさまにアンケートに答えてもらいました。

①　いつご結婚されましたか？
②　なれそめは？
③　この人と一緒になろうと思ったときはいつですか？
④　相手を動物にたとえると？
⑤　今、幸せだと思う瞬間は？



**看護部：江島真理子さん（旧姓：本村）**

①　10月28日
②　もともと地元の同級生です。
昨年の４月、地元の花火パーティで久し振りの再開の折、失恋で落ち込んでいた私を元気づけようと声を掛けてきてくれたのがきっかけです。
それからメール・電話・ご飯やら行くようになり意気投合？告白され、付き合うようになりました
③　付き合った日
④　猿
⑤　一緒に笑っているとき (*^_^*)

**リハビリテーション科：鶴田俊太郎さん**

①　９月16日
②　以前、勤務していた病院で知り合いました
③　付き合い始めてすぐです
④　猫：きびきびしたり、ゴロゴロしたり
⑤　多くの人に祝福してもらうとき

**看護部：内田由佳理さん（旧姓：小部）**

①　12月１日
②　もともとは顔見知りで、友達の紹介をきっかけに
③　初めて一緒に食事をしたとき
④　馬
⑤　これからは、ずーっと一緒に居れるんだなぁと思うとき♥

**明日葉・介護福祉士：福山春宜さん**

①　10月14日
②　学生時代の同級生で、５年間付き合い結婚しました
③　去年、同居を始めたときには決めていました
④　猫
⑤　仕事から帰宅すると食事が準備してあるとき

皆さん会ったその日にビビッときているんですね～ (#^.^#)
やはり運命の人との出会いは素晴らしいですね。

**『結婚するということは２人でユニットになり、一緒に社会と向き合っていくということです。**
**恋愛は１対１、あなたと私の世界。**
**結婚は２対多数、私たちと社会というものに発展したものです。』（江原啓之著）**

手に手を取り、共に同じ方向を向いて社会への第１歩を踏み出した幸せなカップルに職員一同、心からの笑顔で祝福したいと思います。この幸せなエネルギーが増殖していきますよ～に。

（担当：井上）

# 七夕☆彡

七夕とは、７月７日の夜に天の川に隔てられた彦星と織姫が年に一度だけ会うという伝説のちなんだ年間行事です。
また、七夕の語源・由来は中国から伝来し、奈良時代に広まり、「牽牛星（けんぎゅうせい）」と「織女星（しょくじょせい）」の伝説と、手芸や芸能の上達を祈願する中国の習俗「乞巧奠（きっこうでん）」という星祭が結び付けられ、日本固有の行事となりました。

当院でも笹を外来の待合室や病棟のロビーなどに設置しました。患者様は短冊に自作の歌や俳句、お願い事など思い思いに書かれていました。短冊だけではなく患者様と一緒に色紙や折り紙などで天の川を作ったりとカラフルな飾りつけが出来ました。

皆様は、何をお願いされましたか？

織姫と彦星の伝説のようにそれぞれの願い事が叶うといいですね。

（担当：中山）

# 日帰り職員旅行

## IN　花やしき（鳥栖本店）

今年の職員旅行は、日帰り組と宿泊組コースを設け、日帰りコースは「牛ヒレステーキの旅」と題して11月10日（土）、鳥栖の花やしきにて食事会を行いました。
ピアノと歌の生演奏を聴きながらの食事は雰囲気があり、またお肉は格段柔らかく、どの料理も美味で、優雅なひとときを過ごすことが出来ました。皆さんの笑顔とたいらげたお皿が物語っているはずですネ！

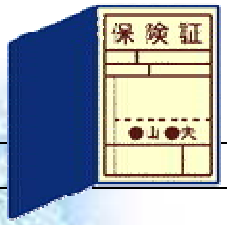
# インフルエンザ予防接種のご案内

巻頭ページにてお知らせいたしましたが、当院でのインフルエンザ予防接種を下記の要領にて実施しております。

**今年度より佐賀県内全市町の広域化に伴い、接種対象者は接種当日に受付に提示して下さい。**

**＊老人医療受給者証：　65　歳　以　上　の　方**

**＊身体障害者手帳：　60　～　65　歳　未　満　の　方**

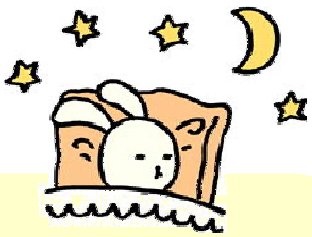



| | |
|---|---|
| 予約 | 予約の必要はありません |
| 曜日 | 月曜日～土曜日まで<br>＊（日曜日・祝日は行っておりません） |
| 接種時間 | 月曜日～金曜日：<br>午後 2 時～ 5 時 |
| | 土曜日：<br>午後 2 時～ 4 時 |
| 料金 | 一般の方：<br>1 回目・ 2 回目（ 2,500 円） |
| | 65 歳以上：<br>公費補助あり（ 1,000 円＊）<br>（＊上峰町、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、みやき町）<br>上記以外：市町によって料金は異なります |

## インフルエンザの予防について

- インフルエンザの予防法としては、手洗いやうがいの励行、規則正しい生活で体調を整えておくことなどがありますが、積極的な予防法としてワクチン接種があります。これにより、かかった時の症状を軽くして、重症化を予防することができます。
- 現在のインフルエンザワクチンは、副作用が少なくはなっていますが、接種にあたっては下記の接種前後の注意を守ってください。
- 心臓や気管支、肺機能が低下している方、糖尿病や腎臓病の方は、インフルエンザにかかるとお年寄りと同様に合併症をおこしやすいため、積極的な予防対策が望まれます。

## 予防接種を受ける前後の注意



**【接種前】**

- 身体の調子の良いときに受けてください。
- 予防接種を受ける前の日になるべく入浴をすませ、身体を清潔にしておいてください。
- 接種を受ける日の起床時に体温をはかっておいてください。予防接種直前にも体温をはかります。

**【接種後】**

- 接種当日は激しい運動はさけてください。
- 接種部位を清潔に保ってください。
- 接種後の健康監視に留意してください。
- 局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状が出たときは、速やかに医師の診察を受けてください。

お問い合わせ先：三樹病院　TEL （0952） 52-7272